

安曇川河畔林の竹林の保全をエコツアーにした取り組み 湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部



湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部活動

※産官民が地域資源の活用に向けてウォーキング型事業実施のため発足(1999年)

※ファン倶楽部の会員組織化も並行して進める

※当初、滋賀県の補助 後に高島市の補助 現在補助金なし)

※会員向け情報誌「きゃんせ」を年1回発行

※ホームページに催事情報など定期的に発信。

“自然や資源を大切に、あるもの探して高島市の自然・歴史・生活文化を5感で楽しみましょう”という理念の元。地域交流 創出・エコツーリズムの推進 食育の推進 環境保全 活動と地域活性化を両輪に活動



2

私たちの活動方針

① 琵琶湖を中心ということで**美湖(エコ)活動**という形で活動

② 人と人が交流することにより人の思いが育まれ、**美湖(エコ)活動**をまた次の世代の方が引き継いでくれると考え活動を行っています

③ 繰り返し高島市に来て下さる高島ファンを作り、「人と人」「人と自然」「人と未来」を繋ぐ地域作りを進め 生物多様性の魅力を **美湖(エコ)活動** から発信します



4

新竹取物語 竹林再生整備体験をエコツアープログラム化(2007, 7, 3活動開始)



2014.9 竹林整備体験 30人
大塚市 宇野中学校 17名 滋賀県 自然体験推進協議会
森林体験:A B 自然体験 農業体験:A B C...
竹林整備(湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部)など8~10
会場で体験。

2015.6.1 大阪 K市 中学2年生・30人
17名 滋賀県 自然体験推進協議会
森林体験:A B 自然体験 農業体験:A B C...
竹林整備(湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部)など8~10
会場で体験。

2009.2.3/6/7 匠の技 吹屋子孫さん見学
Dコース 安曇川の恵み、郷土料理と竹産品
(湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部が担当)
全国エコツーリズム大会inびわ湖高島

エコツアー 新竹取物語参加者

平成19年度 100人、平成20年度 128人、平成21年度 211人、平成22年度 451人、平成23年度 745人、平成24年度 592人、平成25年度 546人、平成26年度 650人、平成27年度 784人(2015.12月末現在)

7

私たちの取り組みの特徴・効果・課題

※活動を長く継続できるように、参加費を安くするため、子供から大人まで楽しみながら体験できるプログラムを実施し、体験料を徴収することで不足する竹林整備費用を補填。

※地域の宿泊施設や観光協会などと連携した教育旅行や企業研修、環境学習を兼ねた高島市周辺のご案内もし、観光施設や特産品販売施設などツアー工程に組み込むなど、結果として地域ぐるみの取り組みに発展。

※エコツアーに食育活動も取り入れ、休耕畑の利用・美湖クッキング・郷土料理などの体験メニューもたいへん豊富。
※竹林の整備効果で、ククザキイチゲやレンブクソウなどの山野草が育ち、カブトムシなどの昆虫が増えるなど、自然再生について学習できる場としての価値が向上。

※竹林整備が、安曇川の維持管理に役立ち、洪水氾濫防止や不法投棄対策として 効果を発揮。

※3月5月7月10月12月に開催する新竹取物語は、子供から高齢者まで幅広い参加があります。スタッフ研修・次世代育成なども考え高島市民は無料にしています。繰り返し参加で、スタッフとして指導していただいています。また、京阪神と地元の方との交流も生まれています。「人と人」「人と自然」「人と未来」を繋ぐ活動に成長。

※活動経費は補助金に頼らず、ガイド料や参加者からいただく環境整備費をあてています。

※今後の課題は、竹林をホームグラウンドとし、心弾ませ高島に繰り返し来て下さる高島ファンがたくさんできるようなエコツアーを創出・展開。地域の環境保全と地域の活性化を両輪に活動し、地域作りにも努め、生物多様性の魅力をびわ湖源流の高島から発信します。そして、スタッフの技術向上に努め、雇用創出に繋がるように努力します。